

BEST AVAILABLE COPY

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-134703
 (43)Date of publication of application : 18.05.2001

(51)Int.Cl. G06F 19/00
 G07D 9/00

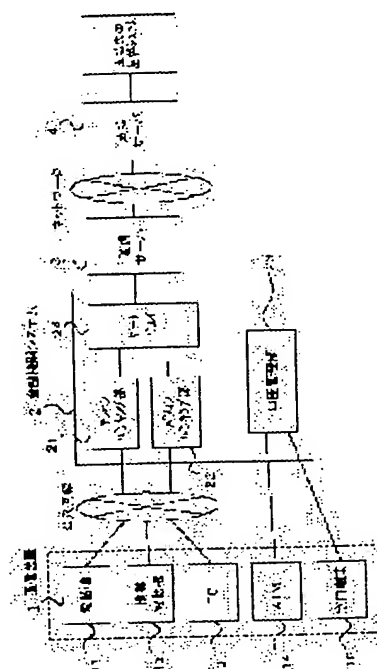
(21)Application number : 11-318847 (71)Applicant : NTT DATA CORP
 (22)Date of filing : 09.11.1999 (72)Inventor : HISHINUMA NOBORU

(54) PAYMENT SYSTEM, FINANCIAL INSTITUTION CENTER, PAYMENT RECIPIENT SERVER AND RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a payment system or the like improved in convenience, with which a user can easily pay.

SOLUTION: A financial institution system 2 accepts a payment request from communication equipment 1 such as a telephone set 11, a portable telephone 12, a personal computer 13, an ATM 14 or a window terminal 15 and it is inquired through a network to a paying server 4 whether the payment request is proper or not. When the inquired result is proper, the contents of payment are presented to a payer, a paying instruction is accepted and the amount to be paid from the payer to the payment recipient is secured in a prescribed account. Then, the money to be paid is remitted through a prescribed account settling network to the financial institution system 2 managing the account of the payment recipient.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 05.01.2001
 [Date of sending the examiner's decision of rejection] 09.03.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-134703

(P 2 0 0 1 - 1 3 4 7 0 3 A)

(43) 公開日 平成13年 5 月 18 日 (2001. 5. 18)

(51) Int. Cl. 7	識別記号	F I	ターマコード (参考)
G06F 19/00		G07D 9/00	451 C 3E040
G07D 9/00	451		461 A 5B055
	461	G06F 15/30	360 9A001
			C
			330

審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平11-318847

(22) 出願日 平成11年11月 9 日 (1999. 11. 9)

(71) 出願人 000102728

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
東京都江東区豊洲三丁目 3 番 3 号

(72) 発明者 菱沼 昇

東京都江東区豊洲三丁目 3 番 3 号 株式会
社エヌ・ティ・ティ・データ内

(74) 代理人 100095407

弁理士 木村 満

F ターム (参考) 3E040 BA07 BA09 BA20 CA06 CA14

CB04 DA02 EA01

5B055 BB03 BB12 CB10 EE02 EE21

JJ05 PA21

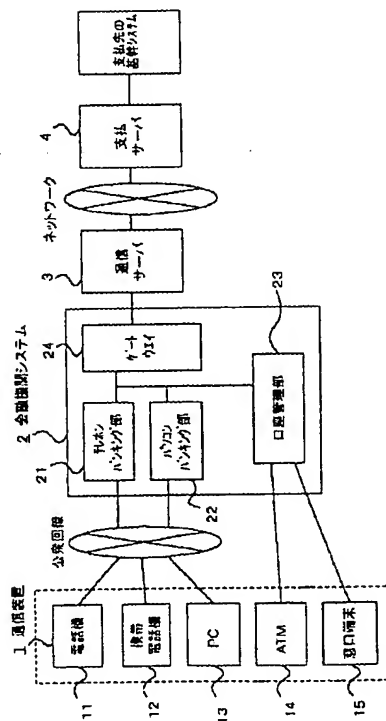
9A001 JJ63 JJ65 LZ03

(54) 【発明の名称】 支払システム、金融機関センタ、支払先サーバ及び記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 利用者が支払を容易に行うことができる利便性の高い支払システム等を提供することを目的とする。

【解決手段】 金融機関システム 2 は、電話機 11、携帯電話機 12、パソコン 13、ATM 14、窓口端末 15、等の通信装置 1 から支払要求を受け付け、支払要求が適正か否かを、ネットワークを介して支払サーバ 4 に問い合わせる。そして、照会結果が適正である場合、支払内容を支払人に提示して、支払指示を受け付け、支払人から支払先への支払金額を所定口座に確保する。そして、所定の決済ネットワークを介して、支払金を支払先の口座を管理する金融機関システム 2 に送金する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】口座を管理する金融機関センタと、各支払人への請求に関する請求情報を記憶する支払先サーバと、を備え、支払人の口座から支払先の口座への支払処理を行う支払システムであって、

前記金融機関センタは、

電話機と、携帯電話機と、パーソナルコンピュータと、ATMと、窓口端末と、の少なくとも 1 つを含む通信装置から支払要求を受け付ける要求受付手段と、

前記支払要求が適正か否かについて、ネットワークを介して前記支払先サーバに照会を要求する照会手段と、

前記照会手段による照会結果が適正である場合、支払内容を支払人に提示して、支払指示を受け付ける指示受付手段と、

前記支払指示に応じて、支払人から支払先への支払金額を所定口座に確保する資金確保手段と、

前記資金確保手段により確保された支払金を、支払先の口座を管理する金融機関センタに送金する手段と、を備える、

ことを特徴とする支払システム。

【請求項 2】前記支払システムは、

前記金融機関センタの前記資金確保手段による資金確保が完了した件に関する支払情報を前記支払先サーバに送信する手段をさらに備える、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の支払システム。

【請求項 3】前記支払先サーバは、前記支払先の口座を管理する金融機関センタに接続して、当該支払先の口座への入金に関する入金情報を取得し、該入金情報を前記支払情報と照合する、

ことを特徴とする請求項 2 に記載の支払システム。

【請求項 4】口座を管理する金融機関センタと、各支払人への請求に関する請求情報を記憶する支払先サーバと、を備え、支払人の口座から支払先の口座への支払処理を行う支払システムにおける前記金融機関センタであって、

電話機と、携帯電話機と、パーソナルコンピュータと、ATMと、窓口端末と、の少なくとも 1 つを含む通信装置から支払要求を受け付ける要求受付手段と、

前記支払要求が適正か否かについて、前記支払先サーバに照会を要求する照会手段と、

前記照会手段による照会結果が適正である場合、支払内容を支払人に提示して、支払指示を受け付ける指示受付手段と、

前記支払指示に応じて、支払人から支払先への支払金額を所定口座に確保する資金確保手段と、

前記資金確保手段により確保された支払金を、支払先の口座を管理する金融機関センタに送金する手段と、を備えることを特徴とする金融機関センタ。

【請求項 5】前記金融機関センタは、

前記資金確保手段による資金確保が完了した件に関する

支払情報を前記支払先サーバに送信する手段をさらに有する、

ことを特徴とする請求項 4 に記載の金融機関センタ。

【請求項 6】口座を管理する金融機関センタと、各支払人への請求に関する請求情報を記憶する支払先サーバと、を備え、支払人の口座から支払先の口座への支払処理を行う支払システムにおける前記支払先サーバであって、

金融機関センタから、支払人から支払先への支払金の確保が完了した件に関する支払情報を受信する手段と、当該支払先の口座を管理する金融機関センタに接続して、当該支払先の口座への入金に関する入金情報を取得し、該入金情報を前記支払情報と照合する手段と、を備えることを特徴とする支払先サーバ。

【請求項 7】口座を管理する金融機関センタと、各支払人への請求に関する請求情報を記憶する支払先サーバと、を備え、支払人の口座から支払先の口座への支払処理を行う支払システムにおいて、コンピュータを前記金融機関センタとして機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、該コンピュータを、

電話機と、携帯電話機と、パーソナルコンピュータと、ATMと、窓口端末と、の少なくとも 1 つを含む通信装置から支払要求を受け付ける要求受付手段、前記支払要求が適正か否かについて、前記支払先サーバに照会を要求する照会手段、

前記照会手段による問い合わせ結果が適正である場合、支払内容を支払人に提示して、支払指示を受け付ける指示受付手段、

前記支払指示に応じて、支払人から支払先への支払金額を所定口座に確保する資金確保手段、前記資金確保手段により確保された支払金を、支払先の口座を管理する金融機関センタに送金する手段、として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 8】前記記録媒体は、

前記コンピュータを、

前記資金確保手段により資金確保が完了した件に関する支払情報を前記支払先サーバに送信する手段、

として機能させるためのプログラムをさらに記録した請求項 7 に記載の記録媒体。

【請求項 9】口座を管理する金融機関センタと、各支払人への請求に関する請求情報を記憶する支払先サーバと、を備え、支払人の口座から支払先の口座への支払処理を行う支払システムにおいて、コンピュータを前記支払先サーバとして機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、該コンピュータを、

金融機関センタから、支払人から支払先への支払金の確保が完了した件に関する支払情報を受信する手段、

当該支払先の口座を管理する金融機関センタに接続して、当該支払先の口座への入金に関する入金情報を取得し、該入金情報を前記支払情報と照合する手段、として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、請求書等に基づく支払を、電話機、パソコン等を用いて窓口以外でも可能とする支払システム等に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、公共料金等の支払システムでは、公共料金の収納機関が、納付書（請求書）を各支払人（利用者）に送付し、利用者が、ATMや銀行、郵便局等の窓口で納付書とともに現金を支払っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記のようなシステムでは、銀行、郵便局等の窓口の営業時間内に支払人（利用者）が窓口に出向いて支払をしなければならず、利用者にとって煩雑であった。また、電話、電気等の公共料金の支払の一部には、24時間営業のコンビニエンスストア等でも行うことができるものもあるが、支払場所（コンビニエンスストア）に出向く必要があった。

【0004】本発明は、上述した事情に鑑みてなされたもので、支払人が支払を容易に行うことができる利便性の高い支払システム等を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の第1の観点に係る支払システムは、口座を管理する金融機関センタと、各支払人への請求に関する請求情報を記憶する支払先サーバと、を備え、支払人の口座から支払先の口座への支払処理を行う支払システムであって、前記金融機関センタは、電話機と、携帯電話機と、パーソナルコンピュータと、ATMと、窓口端末と、の少なくとも1つを含む通信装置から支払要求を受け付ける要求受付手段と、前記支払要求が適正か否かについて、ネットワークを介して前記支払先サーバに照会を要求する照会手段と、前記照会手段による照会結果が適正である場合、支払内容を支払人に提示して、支払指示を受け付ける指示受付手段と、前記支払指示に応じて、支払人から支払先への支払金額を所定口座に確保する資金確保手段と、前記資金確保手段により確保された支払金を、支払先の口座を管理する金融機関センタに送金する手段と、を備える、ことを特徴とする。

【0006】このような構成によれば、ATM、窓口端末、電話機、携帯電話機、パソコン等の種々の通信装置から支払を行うことができるため、利便性の高い支払システムを実現することができる。また、支払要求に応じて、その適正性（例えば支払人が存在することのチェッ

ク等）を支払先のサーバに問い合わせるとともに、支払内容を支払人に確認するため、安全で確実な支払を実現することができる。

【0007】前記金融機関センタにおける前記資金確保手段による資金確保が完了した件に関する支払情報（消込データ）を前記支払先サーバに送信する手段をさらに備えていてもよい。

【0008】前記支払先サーバは、前記支払先の口座を管理する金融機関センタに接続して、当該支払先の口座への入金に関する入金情報を取得し、該入金情報を前記支払情報と照合してもよい。これにより、消込作業を自動化し、システム効率を向上することができる。

【0009】また、本発明の第2の観点に係る金融機関センタは、口座を管理する金融機関センタと、各支払人への請求に関する請求情報を記憶する支払先サーバと、を備え、支払人の口座から支払先の口座への支払処理を行う支払システムにおける前記金融機関センタであって、電話機と、携帯電話機と、パーソナルコンピュータと、ATMと、窓口端末と、の少なくとも1つを含む通信装置から支払要求を受け付ける要求受付手段と、前記支払要求が適正か否かについて、前記支払先サーバに照会を要求する照会手段と、前記照会手段による照会結果が適正である場合、支払内容を支払人に提示して、支払指示を受け付ける指示受付手段と、前記支払指示に応じて、支払人から支払先への支払金額を所定口座に確保する資金確保手段と、前記資金確保手段により確保された支払金を、支払先の口座を管理する金融機関センタに送金する手段と、を備えることを特徴とする。

【0010】このような構成によれば、ATM、窓口端末、電話機、携帯電話機、パソコン等の種々の通信装置から支払を行うことができるため、システムの利便性を高めることができる。また、支払要求に応じて、その適正性（例えば支払人が存在することのチェック等）を支払先のサーバに問い合わせるとともに、支払内容を支払人に確認するため、安全で確実な支払を実現することができる。

【0011】また、前記資金確保手段による資金確保が完了した件に関する支払情報（消込データ）を前記支払先サーバに送信する手段をさらに備えていてもよい。

【0012】また、本発明の第3の観点に係る支払先サーバは、口座を管理する金融機関センタと、各支払人への請求に関する請求情報を記憶する支払先サーバと、を備え、支払人の口座から支払先の口座への支払処理を行う支払システムにおける前記支払先サーバであって、金融機関センタから、支払人から支払先への支払金の確保が完了した件に関する支払情報を受信する手段と、当該支払先の口座を管理する金融機関センタに接続して、当該支払先の口座への入金に関する入金情報を取得し、該入金情報を前記支払情報と照合する手段と、を備えることを特徴とする。

【0013】また、本発明の第4の観点に係る記録媒体は、口座を管理する金融機関センタと、各支払人への請求に関する請求情報を記憶する支払先サーバと、を備え、支払人の口座から支払先の口座への支払処理を行う支払システムにおいて、コンピュータを前記金融機関センタとして機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、該コンピュータを、電話機と、携帯電話機と、パーソナルコンピュータと、ATMと、窓口端末と、の少なくとも1つを含む通信装置から支払要求を受け付ける要求受付手段、前記支払要求が適正か否かについて、前記支払先サーバに照会を要求する照会手段、前記照会手段による照会結果が適正である場合、支払内容を支払人に提示して、支払指示を受け付ける指示受付手段、前記支払指示に応じて、支払人から支払先への支払金額を所定口座に確保する資金確保手段、前記資金確保手段により確保された支払金を、支払先の口座を管理する金融機関センタに送金する手段、として機能させるためのプログラムを記録する。

【0014】前記記録媒体は、前記コンピュータを、前記資金確保手段により資金確保が完了した件に関する支払情報を前記支払先サーバに送信する手段、として機能させるためのプログラムをさらに記録してもよい。

【0015】また、本発明の第5の観点に係る記録媒体は、口座を管理する金融機関センタと、各支払人への請求に関する請求情報を記憶する支払先サーバと、を備え、支払人の口座から支払先の口座への支払処理を行う支払システムにおいて、コンピュータを前記支払先サーバとして機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、該コンピュータを、金融機関センタから、支払人から支払先への支払金の確保が完了した件に関する支払情報を受信する手段、当該支払先の口座を管理する金融機関センタに接続して、当該支払先の口座への入金に関する入金情報を取得し、該入金情報を前記支払情報と照合する手段、として機能させるためのプログラムを記録する。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る実施の形態である支払システムを図面を参照して説明する。なお、この支払システムでは、支払先が各支払人（利用者）に対して請求書を送付し、請求書を受け取った利用者がその支払をするためのシステムである。

【0017】本実施形態に係る支払システムのシステム構成図を図1に示す。本システムは、通信装置1と、金融機関システム2と、通信サーバ3と、支払サーバ4と、を備える。

【0018】通信装置1は、電話機11、携帯電話機12、パソコン13、ATM（Automated Teller Machine）14、窓口端末15等を備え、通信により金融機関システム2に接続される。各通信装置1は、支払時に、

例えば、利用者の識別コード（顧客コード）、請求書に記載された請求番号、支払先を特定するための支払先コード、支払金額、等を含む所定の指示データの入力を利用者から受け付けて、金融機関システム2に送信する。

【0019】例えば、電話機11は、利用者の操作に応じて金融機関システム2に接続した後、利用者によりプッシュホン入力された指示データを受け付けて金融機関システム2に送信する。また、携帯電話機12は、通常の音声通話機能等に加えて、パケット通信によりデータ通信を行うモード（商標）等のデータ処理通信機能をさらに備える。携帯電話機12は、利用者の操作に応じて金融機関システム2に接続した後、そのデータ処理通信機能により、利用者により入力された指示データを金融機関システム2に送信する。また、パソコン13は、利用者の操作に応じてインターネット等を介して金融機関システム2に接続した後、利用者により入力された指示データを金融機関システム2に送信する。

【0020】また、ATM14は、現金の投入とともに指示データの入力を受け付ける。そして、受け付けた金額と入力された指示データ等を金融機関システム2に送信する。また、窓口端末15は、窓口で受け付けた現金の金額と、指示データの入力を受け付ける。そして、受け付けた金額と入力された指示データ等を金融機関システム2に送信する。

【0021】各通信装置1は、指示データを金融機関システム2に送信した後、支払内容を示すデータを受信し、支払内容を文字、音声等により出力して、利用者へ通知する。利用者は支払内容を確認すると、支払の指示を入力し、各通信装置1は、利用者により入力された指示に応じて、所定の支払指示を金融機関システム2に送信する。

【0022】金融機関システム2は、テレホンバンキング部21と、パソコンバンキング部22と、口座管理部23と、ゲートウェイ24と、を備える。テレホンバンキング部21は、従来のテレホンバンキング機能を有し、電話機11又は携帯電話機12からの支払指示を受け付けて処理する。パソコンバンキング部22は、従来のパソコンバンキング機能を有し、パソコン13からの支払指示を受け付けて処理する。

【0023】テレホンバンキング部21及びパソコンバンキング部22は、通信装置1からの指示データを受けて、支払人に関する照会要求（例えば、支払人の存在の有無、支払人に対する請求の有無等）を、ゲートウェイ24、通信サーバ3等を介して支払先の支払サーバ4に送信する。そして、照会結果が適正な場合に支払サーバ4から送信される支払内容を示すデータを受信し、通信装置1に送信する。そして、通信装置1からの支払指示を受けて、利用者の口座情報と支払金額を示す口座資金移動要求を口座管理部23に送信する。なお、支払サーバ4からの照会結果がエラーである場合には、所定のエラー

一信号等を通信装置 1 に送信し、取引を中止する。

【0024】口座管理部 23 は、その金融機関において開設されている口座を管理し、必要に応じて口座間の資金移動等を行う。具体的には、テレホンバンキング部 21 及びパソコンバンキング部 22 からの口座資金要求を受信した場合には、指定された利用者の口座から別段口座に指定された支払金額を移動する。また、ATM 14 又は窓口端末 15 からの指示データを受け付けた場合には、支払人に関する照会要求を、ゲートウェイ 24、通信サーバ 3 等を介して支払先の支払サーバ 4 に送信する。そして、照会結果が適正な場合には、支払サーバ 4 から送信される支払内容を示すデータを受信し、ATM 14 又は窓口端末 15 に送信する。そして、ATM 14 又は窓口端末 15 からの支払指示を受けて、利用者から受け付けた支払金額を別段口座に入金する。また、照会結果がエラーである場合には、所定のエラー信号等を ATM 14 又は窓口端末 15 に送信し、取引を中止する。

【0025】また、口座管理部 23 は、口座振替又は現金の入金により支払金額が保証された件について、ゲートウェイ 24 を介して通信サーバ 3 に通知する。また、口座管理部 23 は、所定のタイミング（例えば、外部からの決済指示の受信時等）で、別段口座から他の金融機関等に、所定の決済システムを介して支払金の資金移動を行う。

【0026】また、支払先の企業等から指定された金融機関（指定金融機関）の金融機関システム 2 における口座管理部 23 は、支払元の金融機関（受け入れ金融機関）から受け付けた入金に基づいて、所定の入金明細データを入金先（支払先）毎に生成するとともに、支払先の口座に支払金額を入金する。入金明細データは、例えば図 2 に示すように、入金日、入金元銀行コード、入金件数、金額等の項目を有し、入金日と入金元銀行が同一の件について、件数と金額がそれぞれ集計される。この入金明細データは後述する支払サーバ 4 による照合処理において使用される。

【0027】ゲートウェイ 24 は、金融機関システム 2 を外部のネットワークと接続するための装置である。

【0028】通信サーバ 3 は、金融機関システム 2 と支払サーバ 4 との間の通信を中継するためのコンピュータであり、金融機関毎に設けられている。通信サーバ 3 は、金融機関システム 2 から、支払額が保証された件の通知を受け、その支払に関する所定の消込データ（支払人名、支払金額等）を、支払先の支払サーバ 4 に送信する。

【0029】支払サーバ 4 は、支払先の基幹システムに接続されており、例えば各利用者に対して行った支払請求に関するデータ（請求データ）を記憶管理する。支払サーバ 4 は、金融機関システム 2 からの照会要求に応じて、請求データについて所定のチェック（該当する利用者についての請求データの有無のチェック等）を行い、

照会結果を要求元の金融機関システム 2 に送信する。

【0030】また、支払サーバ 4 は、通信サーバ 3 からの消込データを受信して記憶する。そして、指定金融機関における金融機関システム 2 にアクセスして、その支払先への入金についての入金明細データを取得し、消込データの照合処理を行う。この照合処理において、支払サーバ 4 は、通信サーバ 3 から受信した消込データを日付別、入金元銀行別にソートし、日付と入金元銀行が同一の件について、件数と金額を集計する。そして、集計された消込データの内容（件数と金額）を、入金明細データの内容と照合して、それぞれ一致することをチェックする。なお、照合された内容が一致する場合には、各支払が適正であると判別され、不一致が検出された場合には、エラーとなった入金日付と入金元銀行が特定され、所定のエラー処理が施される。

【0031】次に、この支払システムの動作を、例えば、公共料金の収納機関 A からの請求書を受け取った利用者 B が支払を行う場合を例に図 3 を参照して説明する。なお、この例では、利用者 B は、通信装置 1 とし、電話機 11、携帯電話機 12、パソコン 13 のいずれかを使用することとする。

【0032】収納機関 A は、公共料金の請求書を利用者 B に送付する（L1）。なお、この利用者 B に対する請求に関する情報（利用者 B の氏名、識別コード、請求番号、請求金額等）は請求データとして収納機関 A の支払サーバ 4 に記憶されている。

【0033】収納機関 A からの請求書を受け取った利用者 B は、収納機関 A に対して支払をするため、利用者 B の識別コード、請求書に記載されている請求番号、収納機関 A の支払先コード、支払金額、等の指示データを通信装置 1 に入力する（L2）。

【0034】例えば通信装置 1 が電話機 11 の場合には、音声ガイダンスに従って指示データをプッシュ入力してもよい。また、携帯電話機 12 の場合には、図示せぬ表示部に表示されたメニューに従って指示データを入力してもよい。また、パソコン 13 の場合には、入力画面の表示に従ってキーボード、マウス等により指示データを入力してもよい。

【0035】通信装置 1 は、入力された指示データを金融機関システム 2 に送信する（L3）。これに応じて、金融機関システム 2 は、収納機関 A の支払サーバ 4 に、例えば、利用者 B の存在の有無、利用者 B に対する請求の有無等についての照会要求を通信サーバ 3 を介して送信する（L4）。

【0036】この照会要求に応じて、収納機関 A の支払サーバ 4 は、請求データを参照して利用者 B についての請求データの存在の確認等を行う。この場合、利用者 B についての請求データは存在するため、支払サーバ 4 は、照会結果が適正であるとして、支払内容を示すデータを、通信サーバ 3、金融機関システム 2 を介して通信

装置 1 に送信する (L 5、L 6)。通信装置 1 は、受信した支払内容を表示等して、利用者に通知する。これにより、利用者は支払内容をチェックできるため、誤払いを防止することができる。

【0037】次に、利用者 B は、支払内容が正しいことを確認し、支払の指示を入力する (L 7)。これに応じて、通信装置 1 は、支払指示を金融機関システム 2 に送信する (L 8)。この例では、通信装置 1 は、電話機 1 1、携帯電話 1 2、パソコン 1 3 等であるため、金融機関システム 2 におけるテレホンバンキング部 2 1 又はパソコンバンキング部 2 2 が口座管理部 2 3 に口座振替要求を送信し、利用者 B の口座から所定の別段口座へ支払金額相当の資金が移動される (L 9)。

【0038】資金の移動が完了すると、支払人名、支払金額、支払先等の所定情報とともに、支払額が保証された旨の通知が金融機関システム 2 から通信サーバ 3 に送信される。通信サーバ 3 は、支払人名、支払金額等の消込データを生成し、収納機関 A の支払サーバ 4 に送信する (L 10)。

【0039】なお、金融機関システム 2 において、別段口座に移動された資金は、例えば図示せぬ所定の決済システム等を介して、収納機関 A の口座が開設されている指定金融機関の金融機関システム 2 に入金される。この指定金融機関の金融機関システム 2 では、各入金先 (収納機関 A を含む) についての入金明細データが生成される。

【0040】収納機関 A における支払サーバ 4 は、通信サーバ 3 から受信した消込データを日付別、入金元銀行別にソートして、日付と入金元銀行が同一の件について、件数と金額を集計する。そして、この集計結果について、指定金融機関の金融機関システム 2 にアクセスし、口座管理部 2 3 で管理されている収納機関 A の入金明細データと、日付及び入金元銀行毎の件数及び金額を突き合わせる照合処理を行い、各支払が正しくなされたことをチェックする (L 11)。この照合処理において、件数又は金額が一致しないデータが検出された場合には、不適正が支払があったものと判別し、所定のエラー処理を行う。

【0041】また、ATM 1 4 又は窓口端末 1 5 において支払を受け付ける場合の処理は、図 4 に示すように、現金による入金があること (L 2') と、支払金額が別段口座に入金されること (L 9') を除けば、上記の電話機 1 1 等を用いて支払を行う場合の処理とほぼ同様である。

【0042】このようにして、電話機 1 1、携帯電話機 1 2、パソコン 1 3、ATM 1 4、窓口端末 1 5、等の種々の通信装置 1 から支払を行うことができるため、利便性の高い支払システムを実現することができる。また、支払人からの支払要求に応じて、その適正性 (例えば支払人が存在することのチェック等) を支払先の支払

サーバ 4 に問い合わせるとともに、支払内容を支払人に確認するため、安全で確実な支払を実現することができる。また、金融機関システム 2 が、支払資金の確保が完了した件について、支払先に電子化された消込データを渡すことにより、企業・収納機関等における消込作業を自動化することができる。また、企業・収納機関等の支払先において、消込データと入金明細との照合を自動的に行うことができる。

【0043】なお、消込データは金融機関システム 2 が生成し、通信サーバ 3 を介して支払サーバ 4 に送信するようにしてもよい。

【0044】なお、この発明の支払システムは、専用のシステムによらず、通常のコンピュータシステムを用いて実現可能である。例えば、コンピュータに上述の動作を実行するためのプログラムを格納した媒体 (フロッピーディスク、CD-ROM 等) から該プログラムをインストールすることにより、上述の処理を実行する通信装置 1、金融機関システム 2、通信サーバ 3、支払サーバ 4、等を構成することができる。なお、上述の機能を、OS が分担又は OS とアプリケーションの共同により実現する場合等には、OS 以外の部分のみを媒体に格納してもよい。

【0045】なお、搬送波にプログラムを重畳し、通信ネットワークを介して配信することも可能である。例えば、通信ネットワークの掲示板 (BBS) に該プログラムを掲示し、これをネットワークを介して配信してもよい。そして、このプログラムを起動し、OS の制御下で、他のアプリケーションプログラムと同様に実行することにより、上述の処理を実行することができる。

【0046】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ATM、窓口端末、電話機、携帯電話機、パソコン等の種々の通信装置から支払を行うことができるため、利便性の高い支払システムを実現することができる。また、支払要求に応じて、その適正性を支払先のサーバに問い合わせるとともに、支払内容を支払人に確認するため、安全で確実な支払を実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施の形態に係る支払システムのシステム構成図である。

【図 2】入金明細データのデータ構造を説明するための図である。

【図 3】支払に電話機、携帯電話機又はパソコンを用いた場合のシステム動作を説明するための図である。

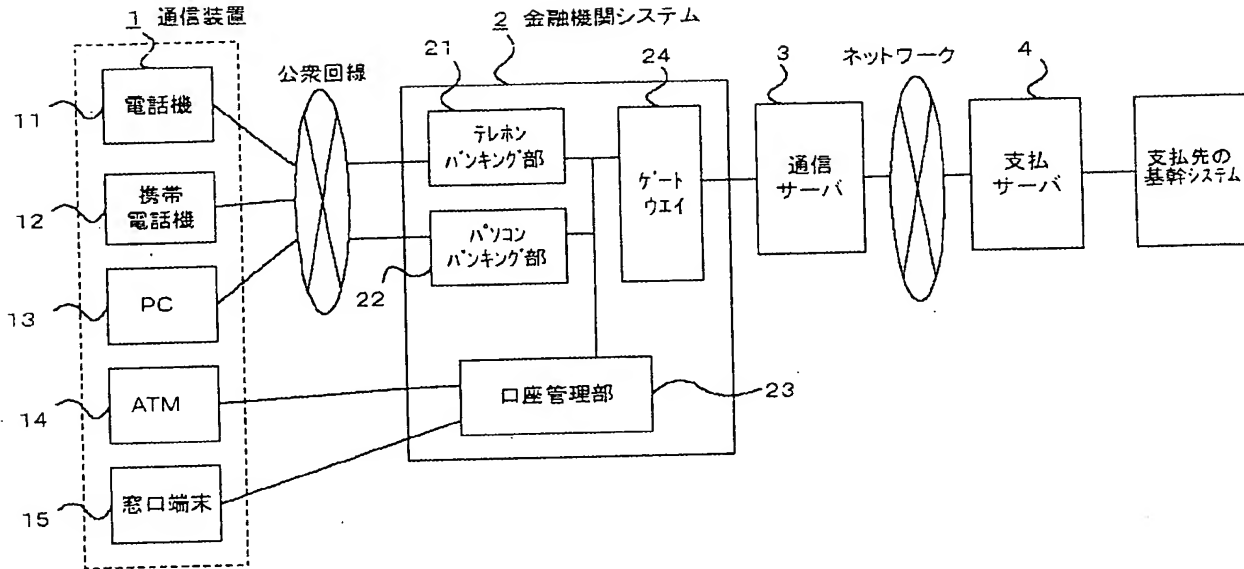
【図 4】支払に ATM 又は窓口端末を用いた場合のシステム動作を示す図である。

【符号の説明】

- | | |
|---|----------|
| 1 | 通信装置 |
| 2 | 金融機関システム |
| 3 | 通信サーバ |

- | | | | |
|----|-------|----|------------|
| 4 | 支払サーバ | 15 | 窓口端末 |
| 11 | 電話機 | 21 | テレホンバンキング部 |
| 12 | 携帯電話機 | 22 | パソコンバンキング部 |
| 13 | パソコン | 23 | 口座管理部 |
| 14 | ATM | 24 | ゲートウェイ |

【図 1】



【図 2】

入金明細データ

入金日	入金元銀行コード	入金件数	金額
XXXX/XX/XX	XXXXXX	XXXX	XXXXXX

L1 請求書送付

